

平成19年5月21日(月)

13:45~16:00

和光市役所5階 503会議室

◎出席者 審査委員：大熊信治(委員長)、西川正、野宗玲子、荒木保敏、成田茂  
事務局：石岡隆、渡邊宗臣、野口晋央

◎傍聴者 14名

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 審査委員会の実施について<ul style="list-style-type: none"><li>・審査基準の確認</li><li>・その他</li></ul></li><li>2 申請団体による企画提案(プレゼンテーション)</li><li>3 平成19年度前期補助金申請団体の審査・交付団体の決定</li></ol> |
|---|

▼並木委員が一身上の都合により辞任したことについて報告・挨拶。  
審査委員の出欠状況は委員5名全員の出席。

## 1 審査委員会の実施について

### ◎審査基準の確認

▼事務局より審査基準について説明・追加採点項目について検討

- ・要綱に記載された5つの採点項目について、各委員5点満点で採点し、125点満点中6割の75点を申請事業の適否ラインとする。
- ・新設団体には奨励点として、3点を上限に加点できる。  
(今回は発表番号①の世界たんけんクラブのみ)
- ・社会情勢を鑑みて審査委員会で付加できる採点項目について、今回は設けない。

### ◎その他

- ・プレゼンテーションの時間は各団体5分とし、質疑応答の時間を10分とする。  
5分経過した段階で事務局から合図する。
- ・各申請団体の補助金交付回数について。
  - 1回目：世界たんけんクラブ、和光国際交流会
  - 2回目：和光市世代間交流会、こども・みらい・わこう、和光・文化を育む会

## 2 申請団体による企画提案

### ①世界たんけんクラブ：「世界たんけんクラブの設立」

#### 《質疑応答》

- ・団体設立準備費として1万円計上されているが、備品等の購入はどのようなものを想定しているのか。1万円で足りるのか。  
→地球儀ボール、国旗、ゲーム用書籍を考えている。高価なものはないので1万円でまかなえる。また、インターネットや図書館を活用し、予算がかからない形で事業を行う予定。
- ・団体を発展させていくためには、会員以外の人との交流が大切。他との交流について計画はあるのか。  
→団体の発展のため、幅広くローカルでグローバルな交流をしていきたい。
- ・団体設立時には、団体の基盤づくりに重点をおくと成功する。会員・参加者数は今後増えていくと考えているのか。  
→学校の中のネットワーク、学校間のネットワークと少しずつネットワークを広げていく中で、会員・参加者は増えていくと見込んでいる。
- ・団体の自立を考えた場合、将来的な資金繰りの見込みはどう考えているのか。  
→お金をかけると長く続かないと考えているので、活動に必要なものを貸してくれるようなネットワークを作り、参加費でカバーしながら低予算で活動を続けたい。

### ②和光市世代間交流会：「和光市市内公園調査」

#### 《質疑応答》

- ・事業計画の中で、世代間交流の拠点として市内の公園を積極的に利用できるように提言するとあるが、どのように提言するのか。  
→19年度で市内の公園をすべて調査できるので、その中からモデルとなる公園を選定し、具体的な提案をしていきたい。  
→地元の人たちが花壇等の管理をすることで訪問者との交流が図られる、健康器具が置いてある公園では高齢者と子どもの交流促進など、イベントを通じて交流の機会を作り出していきたい。
- ・ハードの整備など、市がやるべきこともあるが、市民どおしでやれることもある。何かアイデアは考えているのか。  
→具体的なものはまだ考えていないが、花壇を通じた周辺住民との交流や若い子育て世代と地域住民の交流などが挙げられる。あらゆる世代がその公園で楽しめるという視点で考えたい。

- ・2年目の調査と言うことで、1年目の反省をふまえ今年度の調査はどのようにしていくか。  
フィールドワーク調査は、行政や地元の人と一緒に行わないと、気づいてもらえず、状況が変わらないので、できるだけ多くの参加者を募ったほうがいい。

→昨年度は、公園利用者の聞き取り調査を行いたかったが、公園に人がいないことが多かった。今年度は、利用者の声を聞くことに重点をおくとともに、会のメンバー以外にも、市の職員、関連団体のメンバーや地域の人と一緒に調査に当たりたい。

### ③こども・みらい・わこう：「軽度発達障害の子どもたちを理解するための学習会」

#### 〈質疑応答〉

- ・中期計画に平成19年度は、5本の事業が掲載されているが、今回申請した「軽度発達障害の子どもたちを理解する学習会」を中心に進めるのか。

→5本の柱をどれも進めるが、今回申請した「軽度発達障害の子どもたちを理解する学習会」は専門の講師に講演を依頼する予算が多くかかるため、この事業を申請した。

- ・啓発活動になるのかと思う。最初は軽度発達障害を抱える方々が対象になるとも思う。小学校中学校などの教育現場との連携をどのように考えているのか。連携した方が効果が上がるのではないか。

→保護者はもちろん、保育現場の方、保健の現場、行政の方、教育関係の方、住民の方を対象に、同じ場所で連携を取り、この事業を行う。今年度は福祉と保健がはっきりと連携していただけることになっている。保健センターなどとの連携も図っていくことになっている。教育関係に対しては、教育委員会にこの企画の話をして、できるだけ連携を取りたい。また、教育支援センターが和光市に新しくできたので、そこの連携もしていきたい。

- ・保護者対象学習会・ワークショップの実施とあるが、どのようなものか。

→学習会とワークショップは、「軽度発達障害の子どもたちを理解する学習会」の関連で行っている。去年は虐待防止のワークショップを実施した。同じ啓発としていじめのワークショップを行っている。事業としては別である。今年度は、軽度発達障害の問題は保護者の理解が大事ということで、同時進行ですするため、資料として活動履歴に入れている。

- ・平成19年度予算、事業収入と寄付金の内訳を具体的に教えてほしい。

→市民活動を支援する事業は、防犯ネットの運営である。防犯ネットの独自の事業については、防犯ネットの方で事業予算を計上している。事務局はこども・みらい・わこうでしている。事業に直接関わらない管理運営費等については、こども・みらい・わこうの収入になっている。寄付金については、今のところ54,000円でまだ目標には届いていない。

#### ④和光国際交流会：「外国人学習者に対する日本語学習支援の充実・向上」

##### 《質疑応答》

- ・外国人に日本語を教えるときに、それぞれの会員が英語を習ったことを参考に教えているのか。  
または、教える上での指導を受けているのか。
- 県内で日本語教室は各市町村にある。和光国際交流会はきちんとした日本語を教えたい。日本語を教えたいと申し出があった方には6ヶ月間研修を受けていただくことにしている。【外国人に教えるための日本語】を勉強する必要がある。
  
- ・会費はどのようになっているのか。また、今回補助金を申請した理由は何か。また、法人会員はどのくらいいるのか。
- 会員は約100人であるが、外国人会員からは会費を取っていない。日本人会員は50人程度である。また、インストラクターの意見を聴くと、初級後期から中級以降は創意工夫がいるとのことである。専門家から研修を受けたいという希望が非常に多かった。また、音声指導は前から懸案事項だった。この申請が受理されればこれらに取り組みたい。法人会員については、門戸は開いているが現在はいない。
  
- ・今後とも自立した団体であってほしい。
- 自立した団体を目指している。

#### ⑤和光・文化を育む会：「名作を育むまち和光の文化的遺産を発信する事業」

##### 《質疑応答》

- ・コミュニティーセンターを利用して事業をするのか。
- 白子コミュニティーセンターの中に清水かつらと大石真のコーナーがあるので、そこを充実させる。それに加えひだまりガーデンの整備事業を続けることで和光の文化的遺産を発信したい。
  
- ・補助金だけではまかなえないのではないか。市にもっとアピールをすべきではないか。
- 市には人権文化課がある。今年度は市と県の補助金を使いながら事業を行う。来年度は市と委託契約などを結びながら進められるとよい。当団体だけではなく、市と話し合いをしながら進めている。
  
- ・県の補助金は寄付金に入っているのか。
- 728,000円の半額が入っている。和光市から満額200,000円の補助が出て、数万円は持ち出しになってしまう。それでもこの事業をしたいという熱い気持ちが私たちにはある。
  
- ・県の補助金に対する反応はどうか。
- 担当者は好意的である。現在3件の募集枠に8件の応募があるとのことである。

### 3 平成19年度前期補助金申請団体の審査・交付団体の決定

#### ◎審査結果

No.	団体名	事業名	総得点
①	世界たんけんクラブ	”世界たんけんクラブ“の設立	101点
②	和光市世代間交流会	和光市市内公園調査	91点
③	こども・みらい・わこう	軽度発達障害の子どもたちを理解するための学習会	86点
④	和光国際交流会	外国人学習者に対する日本語学習支援の充実・向上	111点
⑤	和光・文化を育む会	名作を育むまち和光の文化的遺産を発信する事業	92点

#### ◎補助金交付に適する団体

No.	団体名	事業名	事業費総額	補助金申請額
①	世界たんけんクラブ	”世界たんけんクラブ“の設立	100,000円	75,000円
②	和光市世代間交流会	和光市市内公園調査	46,000円	23,000円
③	こども・みらい・わこう	軽度発達障害の子どもたちを理解するための学習会	140,000円	70,000円
④	和光国際交流会	外国人学習者に対する日本語学習支援の充実・向上	80,000円	40,000円
⑤	和光・文化を育む会	名作を育むまち和光の文化的遺産を発信する事業	728,000円	200,000円

※75点以上が、補助金交付事業として適正。